～学校から保護者の皆様へ～

安濃っ子だより

津市立安濃小学校
第２号
平成３１年４月１９日

学校教育目標「人権を大切にし，自ら進んで学び，心も体も豊かでたくましい子どもの育成」

入学式で，「ありがとう」の花を贈ったのは

４月８日、入学式で，１年生にピンクのバラ，ピンクのガーベラなど３つの花を贈りました。そして，こう話しました。

「これらの花言葉は，どれも「ありがとう（感謝）」です。
１年生の皆さんが今日の入学の日を迎えられたのも、皆さんが大きくなることを楽しみに大切に育ててくださるおうちの人。小さい時から見守ってくださる地域の方々。幼稚園や保育園の先生など皆さんが生まれた時から、ずっと愛情いっぱいに育て見守ってくださる多く方々のおかげです。そんな、これまでみなさんが出会ってきた人たちへの「ありがとう」という気持ちを忘れないでほしいと思い、この花を贈ります。そして，これからもおうちの人や地域の方，学校のお友達や先生に「ありがとう」が言える人になってほしいなと思います。」

「ありがとう」が自然に言える子どもになってほしい。だから，わが子には，「誰かに何かをしてもらったら，ありがとうの言葉を，大事にしているんです。」という保護者の方がみえます。

名城大学　曽山和彦教授はその著書で，今，最も子どもに育ちにくい力。「自尊感情（＝自己評価の感情）」と「ソーシャルスキル（＝人づき合いの技術・コツ」だと述べています。なぜかと言うと，どちらも「かかわりを通してしか育たない力」だからだそうです。

「何かしてもらったら『ありがとう』というんだよ」のように，大人から繰り返しかけられることによって，子どもは少しずつ「自尊感情やソーシャルスキル」を育んでいきます。

家庭教育と学校教育が連携を図りながら，培いたい力の一つだと思います。

「タイ」が泳ぐ学校

４月８日，始業式では，２年生以上に次のことを話しました。

「今年の安濃小学校は，たくさんの「タイ」が泳ぐ学校にしたいと思います。「タイ」と言っても魚の「タイ」ではありません。やってみ「タイ」。できるようになり「タイ」の「タイ」です。学年が上がり、新しい教科、新たな活動が始まります。いろいろなことがやり「タイ」・できるようになり「タイ」にどんどん挑戦してほしいと思います。」

子どもたちの「タイ」の応援，よろしくおねがいします。

ホームページでは，公開しておりません。

3
31

5月のクイズ

「今月のクイズ」は，安濃小学校のみんなが様々なことに興味や関心を持ち「考えてみよう」「やっみよう」と自ら進んで学ぼうとする意欲を持つこと，世の中のことに目を向け夢や希望を持つようになることなどを願い，三重県総合博物館や三重県立美術館の協力を得て５月から毎月出題していきます。

５月のクイズは，三重県総合博物館（「ＭｉｅＭｕ」）で実物が展示されているものからの出題です。三重県総合博物館には安濃小学校の児童が尋ねたら，詳しく教えてもらえるようお願いしてありますので，興味を持った人は訪れてみてください。

〔観覧料は，小学生無料ですが，一般の方は有料となります。〕

写真は，三重県総合博物館の3階展示室で出迎えてくれるある生き物です。それは，次のうちどれでしょう。

１　アンちゃん　　２　ミエゾウ　　３　ノンちゃん